

(素案)

第2期

燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン

令和2年3月策定

燕 市・弥彦村

目 次

I 定住自立圏及び市村の名称	
1 定住自立圏の名称	3
2 圏域を形成する市村の名称	3
II 定住自立圏共生ビジョンの目的と期間	
1 定住自立圏共生ビジョンの目的	3
2 定住自立圏共生ビジョンの期間	3
III 定住自立圏の将来像	
1 圏域の現状	4
2 圏域の結びつき	5
3 圏域の将来像	7
IV これまでの定住自立圏共生ビジョンによる取組	
1 定住自立圏共生ビジョン（第1期）取組事業の総括	9
V 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組	10
1 生活機能の強化に係る政策分野	
(1) 医療・福祉	12
(2) 産業振興	15
2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	
(1) 地域公共交通	19
3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	
(1) 人材育成	21
VI 共生ビジョン取組事務事業一覧表	23

I 定住自立圏及び市村の名称

1 定住自立圏の名称

燕・弥彦地域定住自立圏

2 圏域を形成する市村の名称

燕市（中心市）、弥彦村

II 定住自立圏共生ビジョンの目的と期間

1 定住自立圏共生ビジョンの目的

本ビジョンは、燕市と弥彦村の間で締結した定住自立圏形成協定に基づき、魅力ある圏域の形成を図るため、適切に役割を分担しながら圏域全体として目指すべき将来像を掲げるとともに、今後、連携し推進する具体的な取り組みを示すものです。

2 定住自立圏共生ビジョンの期間

本ビジョンの計画期間は令和2年度から令和6年度までの5年間とし、毎年度所要の見直しを行うものとします。

Ⅲ 定住自立圏の将来像

1 圏域の現状

本圏域は、新潟県のほぼ中央、新潟市と長岡市の間位置しており、圏域の西には、標高634mの弥彦山を中心に小高い丘陵が日本海に迫っています。中央部には、越後平野が広がり、南に信濃川から分かれる大河津分水路が流れ、南北には信濃川と信濃川の分流である中ノ口川、西川に沿って平坦な地形が形成されています。

圏域の人口は9万人弱であり、面積は136.13km²となっています。

産業面では、広大な越後平野の地勢と恵まれた水利を生かした米づくりを中心とした農業が盛んであるとともに、全国有数の地場産業のまちとして、生活用品から産業機械等に至る金属加工産業をはじめ、高品質で魅力ある製品を数々生み出しているものづくりの地域としても有名です。また、良寛ゆかりの地である国上山、日本さくら名所100選にも選ばれた大河津分水、万葉の昔からおやひこさまの愛称で広く崇拜されている越後一の宮、彌彦神社、参拝客を泊める宿場街として古くから栄える弥彦温泉などを有する歴史と自然が調和した圏域でもあります。

交通面では、北陸自動車道や上越新幹線といった高速交通機関や主要国道116号、289号が整備されているほか、JR越後線、弥彦線が圏域を縦横に交差するなど交通の要衝となっている圏域でもあります。

圏域を構成する燕市と弥彦村は、これまでも・消防・救急・ごみ処理施設・水道の運営などで連携した取り組みを進めてきており、通勤・通学、買い物、医療・福祉など日常生活の各分野において、行政区域を越えた生活圏としての結びつきがますます強まっています。

【面積】

	燕市	弥彦村	圏域合計
面積	110.96 km ²	25.17 km ²	136.13 km ²
構成比	81.5%	18.5%	100.0%

【人口】

	燕市	弥彦村	圏域合計
人口	79,784人	8,209人	87,993人
構成比	90.7%	9.3%	100.0%

資料:平成27年国勢調査

2 圏域の結びつき

【共同による行政事務処理】

燕市と弥彦村では、市町村の行政区域を越えるさまざまな住民ニーズに対応するため、連携し調整を図りながら、共同による行政事務処理を実施しています。

制 度	名 称	主な共同処理事務	構成団体
一部事務組合 ※ 1	燕・弥彦総合事務組合	<ul style="list-style-type: none"> ・消防事務並びに救急業務に関する事務 ・ごみ処理場を設置し、これを維持管理する事務 ・火葬場を設置し、これを維持管理する事務 ・水道事業の経営に関する事務 ・公共下水道の使用料の徴収に関する事務 	燕 市 弥彦村
	西蒲原福祉事務組合	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者施設であるやひこの里の設置及び管理運営に関する事務 	燕 市 弥彦村 新潟市
機関等の共同設置 ※ 2	燕市弥彦村介護認定審査会	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護認定及び要支援認定に必要な事項に関し審査及び判定を行う事務 	燕 市 弥彦村
	燕市弥彦村予防接種健康被害調査委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種による健康被害発生に際し、医学的な見地から調査し、審議する事務 	燕 市 弥彦村
その他	燕・弥彦地域公共交通会議	<ul style="list-style-type: none"> ・生活交通ネットワーク計画の策定及び計画の変更に関する事務 	燕 市 弥彦村
	燕・弥彦広域観光連携会議	<ul style="list-style-type: none"> ・着地型観光を中心とした新たな観光商品の造成や観光 PR 活動などに関する事務 	燕 市 弥彦村 観光協会

※ 1 一部事務組合（地方自治法第 284 条）：2 以上の地方公共団体が、その事務の一部を共同して処理するために協議により規約を定めて設置する事務の共同処理機構。

※ 2 機関等の共同設置（地方自治法第 252 条の 7）：協議により規約を定め、執行機関としての委員会若しくは委員、執行機関の附属機関、執行機関の事務を補助する吏員、書記その他の職員及び専門委員を共同設置する。

【通勤・通学】

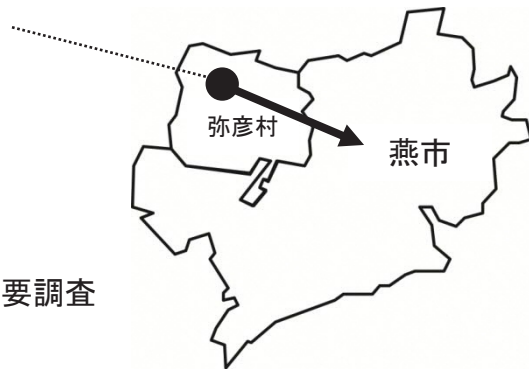
弥彦村から燕市への通勤・通学割合は、**33.3%**と高い水準を示している。



資料：平成27年国勢調査

【医療】

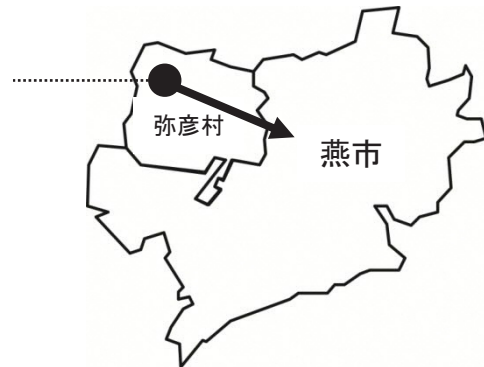
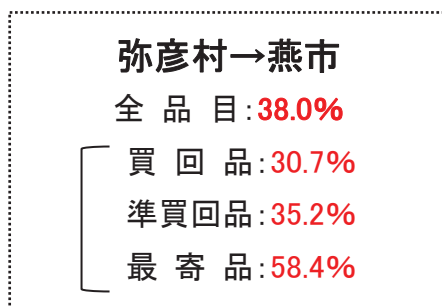
弥彦村から燕市内の病院への入院動向（入院者割合）は、**31.3%**と高い水準を示している。



資料：平成25年度新潟県保健医療需要調査

【商圈】

弥彦村の住民が燕市内の小売店で買い物をする割合は、**38.0%**（全品目）と高い水準を示している。



資料：平成28年度中心市街地に関する県民意識・消費動向調査

3 圏域の将来像

今日の社会経済情勢は、人口減少、少子高齢化の進行、就業構造の変化、経済のグローバル化の進展、温暖化をはじめとする地球環境問題などにより大きく変化しています。

さらに、核家族化の進展やライフスタイルの変化など、住民の価値観が多様化する中、これまで地域を支えてきたコミュニティ機能の低下が懸念されています。

こうした中であって、今後の地域づくりにおいては、人口減少や少子高齢化に対応した効率的な生活機能や交通基盤の整備など、地域と地域が連携し、それぞれがもつ資源を地域間で補完し合いながら、地域の活性化や生活基盤の維持・確保を図っていくということが求められています。

このような状況を踏まえ、燕市と弥彦村は「燕・弥彦地域定住自立圏」を形成し、次の3つを圏域づくりの目標とし、燕市と弥彦村の独自性を互いに尊重しながら、人々が将来にわたって安心して暮らし続けることができる圏域を目指します。

〔暮らしの安心の確保〕

医療・福祉や公共交通など日常生活に密着し、暮らしに欠かすことのできない諸機能を圏域として確保し、高齢者はもとより子育て世代や若者など全ての地域住民が安心して暮らし続けることができる圏域を目指します。

〔地域経済の活性化〕

全国有数の地場産業や温泉、弥彦山など圏域の様々な地域資源を観光資源として磨き上げ、観光を軸に有機的に連携し情報発信することで、圏域全体の付加価値を高め、さらなる地域経済の活性化を目指します。

〔圏域内外の交流促進と人材の育成・確保〕

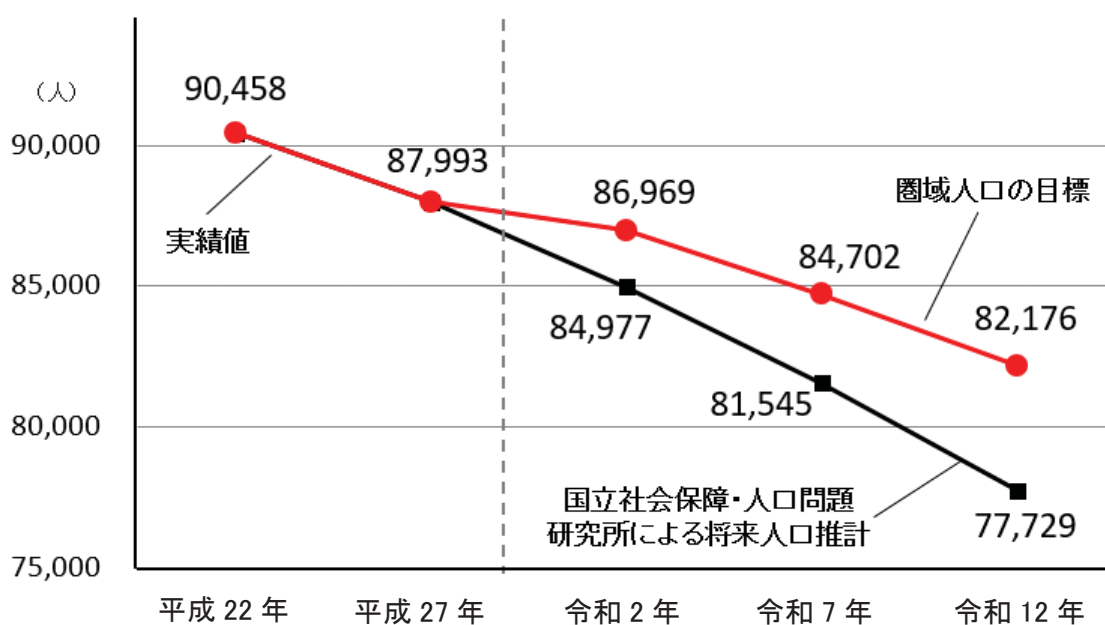
燕市と弥彦村それぞれが持つ地域資源を活かして、圏域内外の交流人口の拡大を図るとともに、圏域を担う多様な人材の育成・確保を目指します。

【圏域人口の目標】

燕・弥彦地域定住自立圏では、連携した取組によって目指す成果として、中長期的な将来の圏域人口の目標を次のとおり定めます。

なお、目標人口は、「燕市人口ビジョン」（平成27年9月）及び「弥彦村人口ビジョン」（平成27年10月）における目標人口を合算したものです。

平成22年	平成27年	令和2年 (目標)	令和7年 (目標)	令和12年 (目標)
90,458人	87,993人	86,969人	84,702人	82,176人



IV これまでの定住自立圏共生ビジョンによる取組

1 定住自立圏共生ビジョン（第1期）取組事業の総括

第2期定住自立圏共生ビジョンを作成するにあたり、定住自立圏共生ビジョン（平成27年度～令和元年度）における具体的な取組と政策分野のKPI（重要業績成果指標）の達成状況を評価し、次のとおり総括を行いました。

【生活機能の強化に係る政策】

①医療・福祉

圏域住民が安心して医療・福祉サービスを楽しむためにも、病児・病後児保育事業及び圏域医師確保のための事業は重要であり、次期ビジョンにおいても継続して実施します。今後、高齢化が進行し、介護施設の利用者増加が見込まれる中、介護職員の確保が課題であることから、介護職員の人材不足対策を推進します。

②産業振興

観光エリア魅力アップ事業では、各細事業の複合的効果から観光客入込数等は増加しているが、弥彦温泉の宿泊数は基準値を下回る結果となりました。現行ビジョンの事業の継続を基本とし、観光情報を効果的に発信するための観光協会運営事業に対する支援や、「道の駅国上」や「おもてなし広場」等の観光複合施設の効果的な管理運営を行うことで、さらなる誘客と広域観光を推進します。

【結びつきやネットワークの強化に係る政策】

①地域公共交通

広域循環バス運行事業の年間利用者数は、目標値を達成する見込みです。また、予約制乗合ワゴン車の年間利用者数も目標値には届かない見込みですが、毎年度安定した利用実績があります。高齢化社会の進展に伴い公共交通利用者が増加すると見込まれる中、生活交通路線の維持確保を図るためにも、燕・弥彦地域公共交通網形成計画に基づきながら、圏域住民のニーズの把握により効果的な運行を目指します。

【圏域マネジメント能力の強化に係る政策】

①人材育成

職員合同研修事業では、接遇力向上研修による高い来庁者満足度として効果が表れています。更なる来庁者満足度の向上のためにも、合同研修メニューの拡充とともに参加者の増加に努めながら継続して実施します。また、高度化する行政課題に対応するための外部人材の積極的な活用は、その知識や経験が内部職員の人材育成にも有用であるため継続して取り組みます。

V 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

1 生活機能の強化に係る政策分野

(1) 医療・福祉

① 地域医療・福祉の環境整備【3事業】

- 病児・病後児保育事業
- 新潟大学寄附講座事業
- 介護人材定着促進事業

(2) 産業振興

① 広域観光の促進【1事業】

- 観光エリア魅力アップ促進事業（細事業6事業）

- ・ 首都圏等観光PR事業
- ・ 産業観光ナビゲート事業
- ・ 観光協会運営支援事業
- ・ 2次交通整備事業
- ・ 観光複合施設運営管理事業
- ・ 情報発信ツール活用事業

2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(1) 地域公共交通

① 地域公共交通ネットワークの構築【2事業】

- コミュニティバス運行事業
- 予約制乗合ワゴン車運行事業

3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(1) 人材育成

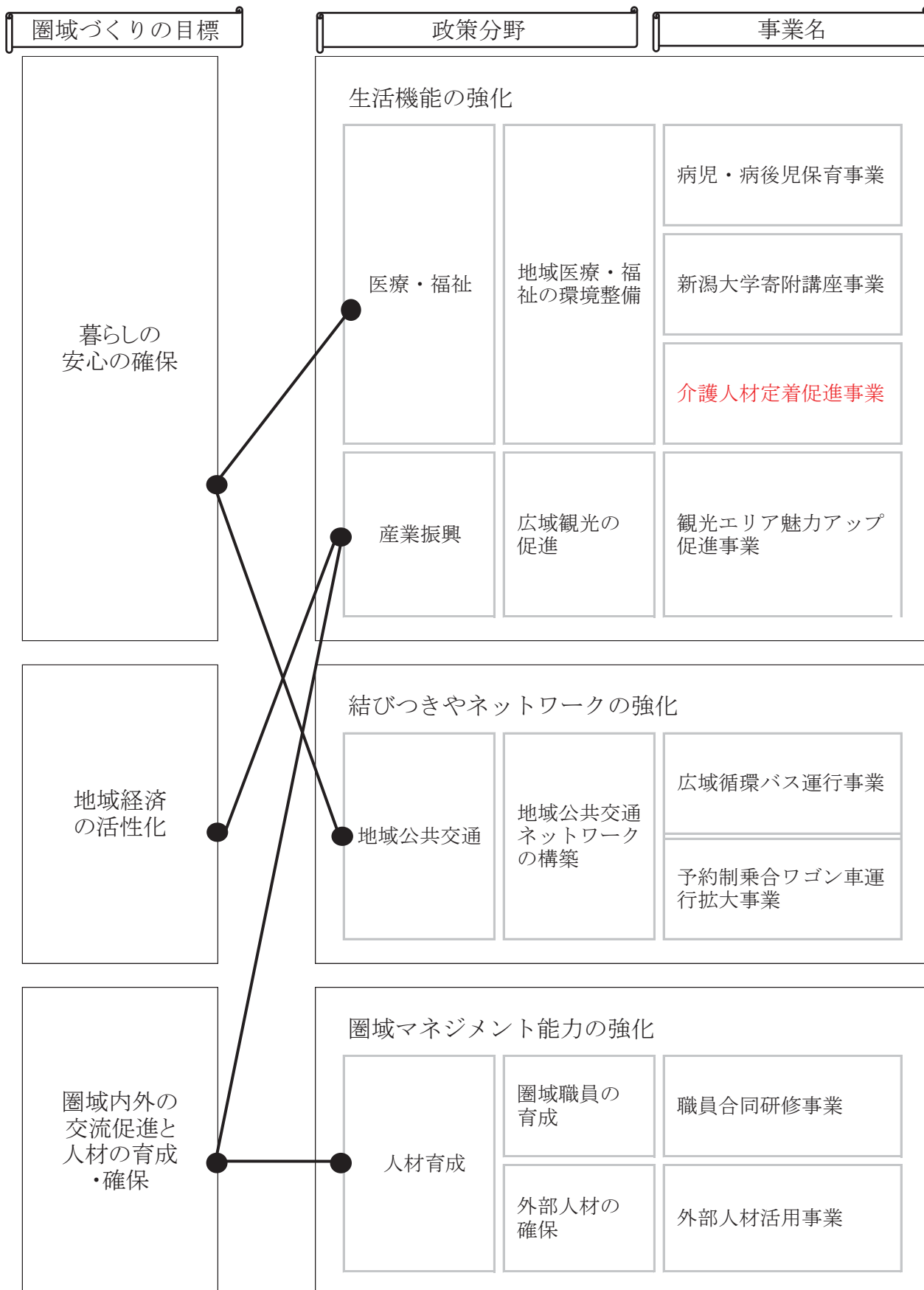
① 圏域職員の育成【1事業】

- 職員合同研修事業

② 外部人材の確保【1事業】

- 外部人材活用事業

〈具体的取組の全体像〉



1 生活機能の強化に係る政策分野

(1) 医療・福祉

【協定の内容】①地域医療・福祉の環境整備

①地域医療・福祉の環境整備

取組の内容	住民が安心して医療・福祉サービスを受けることができるよう、関係機関等との連携の強化を図り、地域医療・福祉体制の整備を推進する。
燕市の役割	(1) 地域医療・福祉に関する情報の集約及び弥彦村との調整を実施する。 (2) 弥彦村と連携して地域医療・福祉の推進に必要な事業を実施する。 (3) その他地域医療・福祉の環境整備に資する取組を実施する。
弥彦村の役割	(1) 燕市への情報提供等を実施する。 (2) 燕市と連携して地域医療・福祉の推進に必要な事業を実施する。 (3) その他地域医療・福祉の環境整備に資する取組を実施する。

【具体的な取組】

事業名	病児・病後児保育事業				
事業内容	児童が病気の治療中又は回復期にあり、保育園等での集団保育が困難で、かつ、保護者のやむを得ない事情により家庭で保育が困難な場合に、その児童を専用施設（病児保育室「あおぞら」）で一時的に預かり、保育および看護ケアを行うことで、保護者の子育てと就労の両立を支援する。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	圏域の保護者の就労を支援するとともに、安心して子育てできる環境の充実が図られる。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	—————→				
事業費見込 (単位：千円)	20,028	20,028	20,028	20,028	20,028
特定財源等 (単位：千円)	9,942	9,942	9,942	9,942	9,942
一般財源 (単位：千円)	10,086	10,086	10,086	10,086	10,086
特定財源等の名称	子ども・子育て支援交付金				
役割分担の考え方	燕市が事業を実施し、弥彦村が事業経費の一部を負担する。				

【具体的な取組】

事業名	新潟大学寄附講座事業				
事業内容	新潟大学に設置した寄附講座により、消化器疾患対策の研究を新潟大学及び吉田病院を拠点として実施し、吉田病院を中心とした医療圏における消化器疾患の検診・教育・予防体制のモデル地区構築を目指す。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	次世代検診モデルの構築による消化器疾患の早期発見、早期治療対策の研究による地域の検診体制の強化が図られる。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	—————→				
事業費見込 (単位：千円)	7,480	7,480			
特定財源等 (単位：千円)	-	-			
一般財源 (単位：千円)	7,480	7,480			
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

【具体的な取組】

事業名	介護人材定着促進事業				
事業内容	介護資格の取得経費や研修受講費の一部を助成することで介護人材の確保に努めるとともに、介護業務に精励する職員の表彰を通して、介護職のやりがいと魅力を広く住民に発信し、職員が自信と意欲を持って働き続けられるよう介護人材の定着を図ります。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	介護職員が資格を取得することや表彰を受けることで、自信とやりがいを持てる職場環境が形成され、職員の離職予防や定着促進につながり、圏域における高齢者が介護サービスを安定的に利用できる。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	—————→				
事業費見込 (単位：千円)	2,717	2,717	2,717	2,717	2,717
特定財源等 (単位：千円)	-	-	-	-	-
一般財源 (単位：千円)	2,717	2,717	2,717	2,717	2,717
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

【重要業績成果指標(KPI)】

指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
病児・病後児保育事業の登録者数	1,585人（平成30年度）	1,750人（令和6年度）
県立吉田病院 消化器内科医師数	4人（平成30年度）	4人（令和3年度）
介護人材育成事業補助金 助成者数 (延べ人数累計)	147人（平成30年度）	290人（令和6年度）

(2) 産業振興

【協定の内容】

①広域観光の促進

取組の内容	首都圏を中心とした観光PRなど、エリアの誘客増加のための取組により、広域観光を推進する。
燕市の役割	(1) 広域観光に関する情報の集約及び弥彦村との調整を実施する。 (2) 弥彦村と連携して広域観光の推進に必要な事業を実施する。 (3) その他広域観光の推進に資する取組を実施する。
弥彦村の役割	(1) 燕市への情報提供等を実施する。 (2) 燕市と連携して広域観光の推進に必要な事業を実施する。 (3) その他広域観光の推進に資する取組を実施する。

【具体的な取組】

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（首都圏等観光PR事業）				
事業内容	首都圏を中心にイベント出展、メディアのパブリシティ活動や交通媒体等に対する観光PR活動の強化を図る。また、マスコミや旅行会社、一般消費者によるモニターツアーを実施して圏域への誘客の増加を図る。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	マスコミや旅行関係者に圏域の観光資源を直接提供することで、新たな旅行商品が造成され、首都圏からの誘客増加や新たな客層の発掘が図られる。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
					➔
事業費見込 (単位：千円)	12,250	12,250	12,250	12,250	12,250
特定財源等 (単位：千円)	-	-	-	-	-
一般財源 (単位：千円)	12,250	12,250	12,250	12,250	12,250
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用負担をする。				

【具体的な取組】

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（産業観光ナビゲート事業）				
事業内容	各種観光イベントの企画運営の強化拡充と観光客や団体視察などの受入体制を充実させるため、観光ナビゲーターの確保育成を図る。				関係市村
					燕市
期待される効果	圏域を訪れる観光客の滞在時間の増加やリピーター率の増加などにより、地域住民と観光客の交流の場の拡大が図られる。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	→				
事業費見込 (単位：千円)	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
特定財源等 (単位：千円)	-	-	-	-	-
一般財源 (単位：千円)	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	燕市が事業を実施し、費用を負担する。				

【具体的な取組】

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（観光協会運営支援事業）				
事業内容	燕市と弥彦村の観光に係るイベント開催、観光情報の発信を担う観光協会の運営事業を支援することにより、圏域の観光客誘致を効果的に実施する。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	圏域の観光の魅力を持続的に情報発信させることで、観光客が圏域を訪れる契機となったり、リピーター率の増加が図れるなど、交流・応援人口の拡大が図られる。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	→				
事業費見込 (単位：千円)	48,696	48,696	48,696	48,696	48,696
特定財源等 (単位：千円)	7,965	7,965	-	-	-
一般財源 (単位：千円)	40,731	40,731	48,696	48,696	48,696
特定財源等の名称	地方創生推進交付金				
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

【具体的な取組】

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（2次交通整備事業）				
事業内容	JR燕三条駅や弥彦温泉から出発する2次交通を整備することにより、観光客の交通手段の利便性の向上を図る。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	圏域を訪れる観光客の滞在時間の増加やリピーター率の増加などにより、地域住民と観光客の交流の場の拡大が図られる。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	→				
事業費見込 (単位：千円)	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
特定財源等 (単位：千円)	-	-	-	-	-
一般財源 (単位：千円)	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

【具体的な取組】

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（観光複合施設運営管理事業）				
事業内容	複合的な誘客施設である「道の駅国上」や「おもてなし広場」等において、圏域を訪れる契機となるよう、地場農産物等のPR拡充と販売促進を積極的かつ効果的に行う。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	施設の魅力を向上させることにより、観光客が圏域を訪れる契機となり、交流・応援人口の拡大が図られる。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	→				
事業費見込 (単位：千円)	27,840	27,840	27,840	27,840	27,840
特定財源等 (単位：千円)	-	-	-	-	-
一般財源 (単位：千円)	27,840	27,840	27,840	27,840	27,840
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

【具体的な取組】

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（情報発信ツール活用事業）				
事業内容	圏域の魅力を効果的に伝えることができる観光PR用ポスター、DVDを作成し、情報発信ツールとして活用を図る。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	圏域の魅力を情報発信することで、観光客が圏域を訪れる契機となり、交流・応援人口の拡大が図られる。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	—————→				
事業費見込 (単位：千円)	750	750	750	750	750
特定財源等 (単位：千円)	-	-	-	-	-
一般財源 (単位：千円)	750	750	750	750	750
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用負担をする。 (一部、燕市が事業を実施し、費用を負担する。)				

【重要業績成果指標 (KPI)】

指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
燕市及び弥彦村の観光入込客数(暦年)	3,332,034人（平成30年）	3,752,000人（令和6年）
2次交通整備事業の利用人数	305人（平成30年度）	400人（令和6年度）
道の駅国上・おもてなし広場来館者数	367,929人（平成30年度）	404,000人（令和6年度）
弥彦温泉における宿泊数(暦年)	88,193泊（平成30年度）	91,000泊（令和6年度）
産業観光視察受入人数(燕市観光協会経由分)	2,102人（平成30年度）	3,500人（令和6年度）

2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(1) 地域公共交通

【協定の内容】

①地域公共交通ネットワークの構築

取組の内容	地域公共交通のあり方に関する調査・検討及び地域公共交通の確保のために必要な事業の実施により、地域公共交通ネットワークを構築する。
燕市の役割	(1) 弥彦村と連携して地域公共交通ネットワークの構築に取り組む。 (2) 弥彦村及び関係機関との総合的な連絡調整を行う。 (3) その他地域公共交通ネットワークの構築に資する取り組みを実施する。
弥彦村の役割	(1) 燕市と連携して地域公共交通ネットワークの構築に取り組む。 (2) その他地域交通ネットワークの構築に資する取り組みを実施する。

【具体的な取組】

事業名	コミュニティバス運行事業				
事業内容	圏域住民の生活に密接なバス路線の運行を維持拡充するため、圏域の主要駅や病院等を経由するバス路線の整備を図る。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	生活交通路線の維持拡充により、高齢者や学生など自動車を運転できない住民の通院や通学など生活に必要な交通手段が確保され、圏域住民の利便性が図られる。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	→				
事業費見込 (単位：千円)	32,633	32,633	32,633	32,633	32,633
特定財源等 (単位：千円)	29,321	29,321	29,321	29,321	29,321
一般財源 (単位：千円)	3,312	3,312	3,312	3,312	3,312
特定財源等の名称	地域公共交通確保維持改善事業、特別交付税（地方バス）				
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

【具体的な取組】

事業名	予約制乗合ワゴン車運行事業				
事業内容	高齢者をはじめとする圏域住民の通院・通学や買い物などの生活活動を支えるとともに、公共交通空白地域の解消を図る。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	生活交通路線の維持拡充により、高齢者や学生など自動車を運転できない住民の通院や通学など生活に必要な交通手段が確保され、圏域住民の利便性が図られる。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	—————→				
事業費見込 (単位：千円)	50,061	50,061	50,061	50,061	50,061
特定財源等 (単位：千円)	41,248	41,248	41,248	41,248	41,248
一般財源 (単位：千円)	8,813	8,813	8,813	8,813	8,813
特定財源等の 名称	地域公共交通確保維持改善事業、特別交付税（地方バス）				
役割分担の 考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

【重要業績成果指標 (KPI)】

指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
コミュニティバスの 年間利用者数	53,404人（平成30年度）	59,200人（令和6年度）
予約制乗合ワゴン車の 年間利用者数	38,652人（平成30年度）	38,800人（令和6年度）

3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(1) 人材育成

【協定の内容】

①圏域職員の育成

取組の内容	合同専門研修の実施により、職員の人材育成を図る。
燕市の役割	(1) 職務に係る専門研修を行うに際し、弥彦村の職員に当該研修への参加の機会を設ける。 (2) その他職員の人材育成に資する取組を実施する。
弥彦村の役割	(1) 合同専門研修の企画立案及び運営に協力するとともに、職員を参加させる。 (2) その他職員の人材育成に資する取組を実施する。

【具体的な取組】

事業名	職員合同研修事業				
事業内容	圏域内外から専門家を招へいし、地域活力の向上に資する研修を合同で開催することで、職員の資質向上を図るとともに圏域内職員の交流を促進する。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	職員の資質、能力の向上を図るとともに、職員間のネットワーク構築と連携強化が図られる。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	➔				
事業費見込 (単位：千円)	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
特定財源等 (単位：千円)	-	-	-	-	-
一般財源 (単位：千円)	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	燕市が事業を実施し、弥彦村が事業経費の一部を負担する。				

【重要業績成果指標(KPI)】

指標	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
来庁者満足度	83.5% (平成30年度)	85.0% (令和6年度)
合同研修メニュー数	4メニュー (平成30年度)	6メニュー (令和6年度)

【協定の内容】

②外部人材の確保

取組の内容	生活機能の強化に係る政策分野及び結びつきやネットワークの強化に係る政策分野の取組に必要な圏域のマネジメント能力を強化するため、専門知識等を有する人材の確保に取り組む。
燕市の役割	(1) 政策分野の取組に必要な専門知識等を有する人材の確保に努める。
弥彦村の役割	(1) 政策分野の取組に必要な専門知識等を有する人材の確保に努める。

【具体的な取組】

事業名	外部人材活用事業				
事業内容	圏域内における生活機能の強化及び結びつきやネットワークの強化を推進するため、必要に応じ高度で専門的な知識等を有する人材を圏域外から招へいすることで、定住自立圏構想の取組の成果を高める。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	専門的な知識等を有する人材を積極的に活用することにより、地域の活性化が図られる。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	→				
事業費見込※1 (単位：千円)	(40,000)	(40,000)	(40,000)	(40,000)	(48,000)
特定財源等 (単位：千円)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
一般財源 (単位：千円)	(40,000)	(40,000)	(40,000)	(40,000)	(48,000)
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※1 「外部人材活用事業」における職員人件費は特別交付税の包括的財政措置の対象外のためカッコ書きしています。

【重要業績成果指標 (KPI)】

指標	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
外部人材職員の招へい数 (期間中の累計)	5人 (平成30年度)	6人 (令和6年度)

※具体的な取組の事業に対する事業費見込は、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎度の予算で具体額を定めます。

VI 共生ビジョン取組事務事業一覧表

(※事業費は、現時点での一般財源の合計見込額を記載しています)

項目	事業名	連携市村	事業費 (単位: 千円)					特定財源等		
			R2	R3	R4	R5	R6		計	
1 生活機能の強化										
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備									
	病児・病後児保育事業	燕市	8,745	8,745	8,745	8,745	8,745	43,725	子ども・子育て支援交付金	
		弥彦村	1,341	1,341	1,341	1,341	1,341	6,705		
		計	10,086	10,086	10,086	10,086	10,086	50,430		
	新潟大学寄附講座事業	燕市	6,800	6,800	-	-	-	13,600		
		弥彦村	680	680	-	-	-	1,360		
		計	7,480	7,480	-	-	-	14,960		
	介護人材育成促進事業	燕市	2,237	2,237	2,237	2,237	2,237	11,185		
		弥彦村	480	480	480	480	480	2,400		
		計	2,717	2,717	2,717	2,717	2,717	13,585		
産業振興	広域観光の促進									
	観光エリア魅力アップ促進事業									
	首都圏等観光PR事業	燕市	9,450	9,450	9,450	9,450	9,450	47,250		
		弥彦村	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	14,000		
		計	12,250	12,250	12,250	12,250	12,250	61,250		
	産業観光ナビゲート事業	燕市	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	35,000		
		弥彦村	0	0	0	0	0	0		
	観光協会運営支援事業	燕市	37,431	37,431	45,396	45,396	45,396	211,050	地方創生推進交付金	
		弥彦村	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	16,500		
	2次交通整備事業	燕市	3,375	3,375	3,375	3,375	3,375	16,875		
		弥彦村	1,125	1,125	1,125	1,125	1,125	5,625		
	観光複合施設管理運営事業	燕市	22,759	22,759	22,759	22,759	22,759	113,795		
		弥彦村	5,081	5,081	5,081	5,081	5,081	25,405		
	情報発信ツール活用事業	燕市	750	750	750	750	750	3,750		
		弥彦村	0	0	0	0	0	0		
計	燕市	98,547	98,547	99,712	99,712	99,712	496,230			
	弥彦村	14,807	14,807	14,127	14,127	14,127	71,995			
①小計		計	113,354	113,354	113,839	113,839	113,839	568,225		
2 結びつきやネットワークの強化										
地域公共交通	地域公共交通ネットワークの構築									
	コミュニティバス運行事業	燕市	2,252	2,252	2,252	2,252	2,252	11,260	地域公共交通確保維持改善事業、特別交付税(地方バス)	
		弥彦村	1,060	1,060	1,060	1,060	1,060	5,300		
		計	3,312	3,312	3,312	3,312	3,312	16,560		
	予約制乗合ワゴン車運行事業	燕市	7,354	7,354	7,354	7,354	7,354	36,770	地域公共交通確保維持改善事業、特別交付税(地方バス)	
		弥彦村	1,459	1,459	1,459	1,459	1,459	7,295		
計		8,813	8,813	8,813	8,813	8,813	44,065			
②小計	燕市	9,606	9,606	9,606	9,606	9,606	48,030			
	弥彦村	2,519	2,519	2,519	2,519	2,519	12,595			
	計	12,125	12,125	12,125	12,125	12,125	60,625			
3 圏域マネジメント能力の強化										
人材育成	圏域職員の育成									
	職員合同研修事業	燕市	1,070	1,070	1,070	1,070	1,070	5,350		
		弥彦村	130	130	130	130	130	650		
		計	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	6,000		
	外部人材の確保	外部人材活用事業 ※1	燕市	(32,000)	(32,000)	(32,000)	(32,000)	(32,000)	(160,000)	
			弥彦村	(8,000)	(8,000)	(8,000)	(8,000)	(8,000)	(40,000)	
計			(40,000)	(40,000)	(40,000)	(40,000)	(40,000)	(200,000)		
③小計	燕市	1,070	1,070	1,070	1,070	1,070	5,350			
	弥彦村	130	130	130	130	130	650			
	計	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	6,000			
①+②+③ 合計		燕市	109,223	109,223	110,388	110,388	110,388	549,610		
弥彦村	17,456	17,456	16,776	16,776	16,776	85,240				
計	126,679	126,679	127,164	127,164	127,164	634,850				

※1 「外部人材活用事業」における職員人件費は特別交付税の包括的財政措置の対象外のためカッコ書きし、集計には含めていません。